



# 学校だより

令和6年2月29日  
福生市立福生第三小学校  
校長：浅倉 宏之  
住所：福生市牛浜162  
電話：551-0249

<http://fussa-3e.hs.fussa.school/>

## 「こどもまんなか 福生三小」の実現に向けて

校長 浅倉 宏之

保護者・地域の皆様、今年度も本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、ありがとうございました。皆様の御協力のもと、今年度も無事に年度末を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

1月から、試験的に「歯磨きタイム」を行いました。歯ブラシやコップの御準備をいただきありがとうございました。福生市の調査で、市内小学生の46%に虫歯があり、治療完了の報告率は23%だそうです。これは児童100人中、虫歯のある子が46人、その虫歯を治しに行った子はわずかに10人程度という計算になります。虫歯が痛いようでは勉強も運動も遊びもままなりません。

人間の欲求はピラミッド型の階層できているとする考えがあります。最下層の欲求は食欲や睡眠欲などの生存に関わる本能的なものです。ここが満たされないとその上にある階層の欲求は湧いてきません。「マズローの欲求」などでネット検索していただくと、その情報は読めますが、勉強などへ向かおうとする欲求は4階層目くらいになるはずですが、そこには①生きていくうえで必要な食事や睡眠が確保され、②安全で安心して生活でき、③周りから愛されていると実感ができて、初めてたどり着けます。子供たちですから、そのような十分な環境を創れるのは周りの大人ということになります。

我々学校では、「自分には学校に居場所がある」と安心してもらい、安全に過ごせる学校環境づくりを引き続き行ってまいります。そのための、人間関係形成力の向上を目指し、特別の教科道徳でのいじめ防止の授業を行ったり、特別活動での認め合い、支え合う態度の育成を意識した活動を計画したりと、教科学習はもちろん、全教科領域で、望ましい人格形成を目指します。

御家庭におかれましても、お子さんの成長にたくさんの愛情を注いでくださっていることに感謝申し上げます。また、早寝早起きの習慣化、栄養に配慮された食事など、御苦労されていることを挙げれば枚挙にいとまがありませんが、引き続き、御家庭での規則正しい生活等への御配慮をお願いいたします。ここの部分はどうしても学校では、補えないところです。御家庭のお力をお願いしなければなりません。

また、地域との関わりの中から、社会での振る舞いを学ぶことができるなど、学校や家庭からは学べない事柄を補完でき、社会的な欲求を満たし、帰属感を味わうことで、地域への愛着も高まります。

学校・家庭・地域の三者の役割がしっかり機能して初めて、先述した「マズローの欲求5階層」の3階層目までがクリアできます。福生市の子ども育成スローガン「こどもまんなか ふっさ」とは、それぞれの立場での役割を果たしながら、自分たちの中心にいる子供の育成を推し進めていくというものです。来年度も引き続き、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、御家庭・地域の皆様の御協力で、今年度が無事に終わられること、安全に過ごすことができました。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。